岩手南部森林管理署

管内概要

令和７年度版

焼石連峰と胆沢ダム

東北森林管理局
岩手南部森林管理署

国民の森林・国有林

焼石岳山頂とお花畑

【表紙写真】

　焼石岳（やけいしだけ）は、岩手県奥州市と西和賀町の堺に位置する標高1,548メートルの火山です。夏油三山と呼ばれる山々を含む焼石連峰の主峰で、栗駒国定公園に指定されているほか、周辺森林は焼石岳生物群集保護林にも指定されています。

　美しいブナの天然林をはじめ、本州ではここにしかない北方系の高山植物など、変化に富んだ植物群落が見られ、日本二百名山や東北百名山に名を連ねており、シーズンには多くの登山客が訪れます。

目　次

１．岩手南部森林管理署へようこそ　・・・・・・・・・・・・・・・・１

（１）管内の位置と国有林分布　・・・・・・・・・・・・・・・・・・１

（２）管内国有林の特徴　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

２．公益性を重視した国有林野の管理経営　・・・・・・・・・・・・３

（１）森林のタイプ別の管理経営　・・・・・・・・・・・・・・・・・３

（２）治山事業の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

（３）路網整備の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

（４）生物多様性の保全　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

（５）病害虫対策の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

３．森林・林業施策推進への貢献　・・・・・・・・・・・・・・・・７

（１）「新しい林業」への取組　・・・・・・・・・・・・・・・・・・７

（２）試験研究・教育等への活用　・・・・・・・・・・・・・・・・・７

（３）関係機関との連携　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・８

４．「国民の森林（もり）」としての管理経営　・・・・・・・・・・９

（１）協定締結による森林づくり　・・・・・・・・・・・・・・・・・９

（２）森林環境教育の推進　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９

５．林産物の供給　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

（１）森林資源の循環利用　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

（２）林況等に応じた木材供給　・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

（３）地域と連携した取組　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

６．国有林野の活用、地域振興　・・・・・・・・・・・・・・・・・11

（１）レクリエーションの森　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11

（２）国有林野の貸付け　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

（３）分収造林制度による森林づくり　・・・・・・・・・・・・・・・12

７．管内の市町村別データ　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

８．令和７年度事業予定　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・14

９．岩手南部森林管理署の沿革　・・・・・・・・・・・・・・・・・15

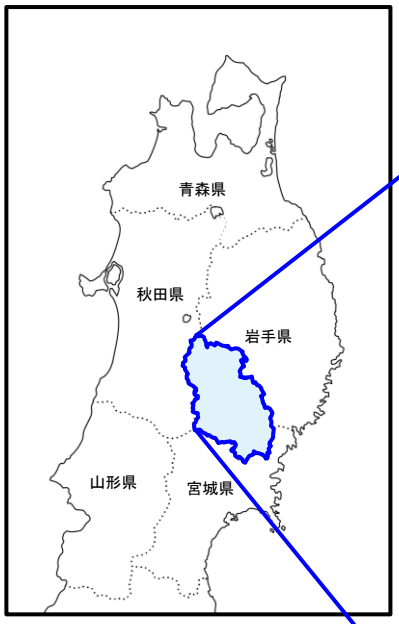
10．組織概要　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16

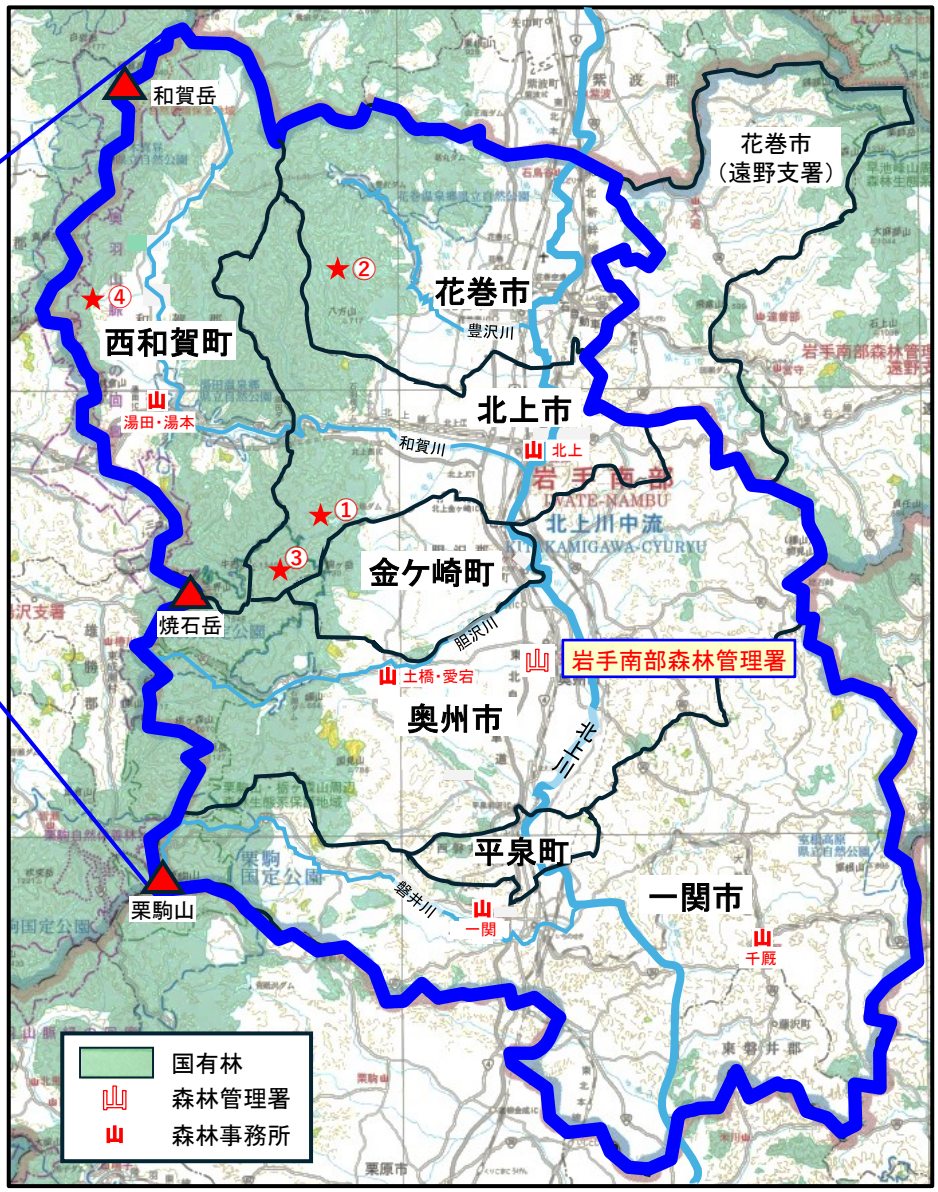
１．岩手南部森林管理署へようこそ

（１）管内の位置と国有林分布

岩手南部森林管理署では、岩手県南西部に位置する、奥州市、花巻市（旧東和町・旧大迫町を除く）、北上市、一関市、金ケ崎町、西和賀町及び平泉町の４市３町に位置する、約114千ha（森林面積の約４割）の国有林を所管しています。

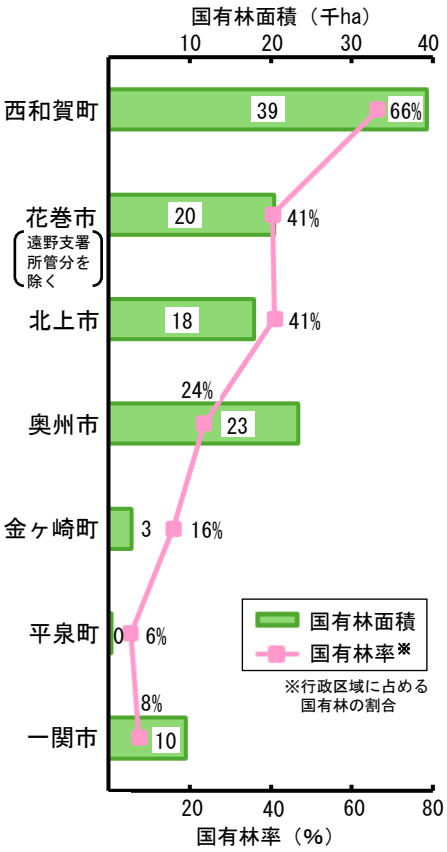
国有林の大部分は、和賀岳（1,439m）、焼石岳（1,547m）、栗駒山（1,626m）など、急峻な山々が連なる奥羽山脈沿いに位置しており、最も国有林面積の大きい西和賀町では、町内面積の約７割を国有林が占めています。





★：レクリエーションの森設定箇所（P11参照）（野外スポーツ地域：①（夏油高原）　②鉛温泉スキー場　自然観察教育林：③（夏油）　風景林：④（下前））

○ 市町別国有林面積



国有林ビューア（試行版）を公開しています

国有林ビューアとは？

WEBブラウザ上でアクセスすることで、地図や航空写真を背景とした国有林の森林情報を、手軽に閲覧することができます。

リンクはこちら

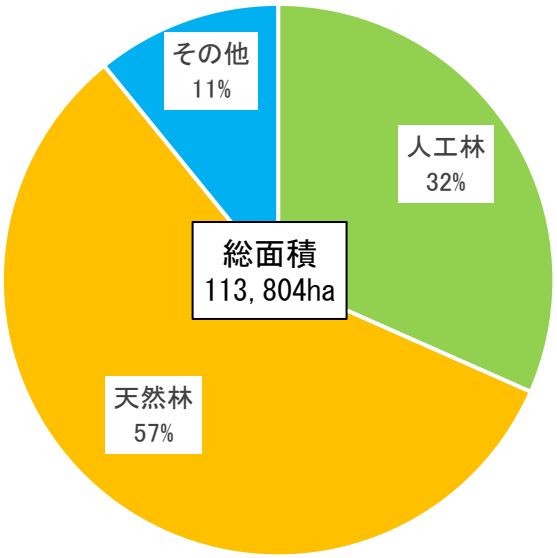
（２）管内国有林の特色

管内の天然林と人工林の構成比率は６：３（その他１割）で、奥羽山脈の急峻な山地ではほぼ天然林となっています。

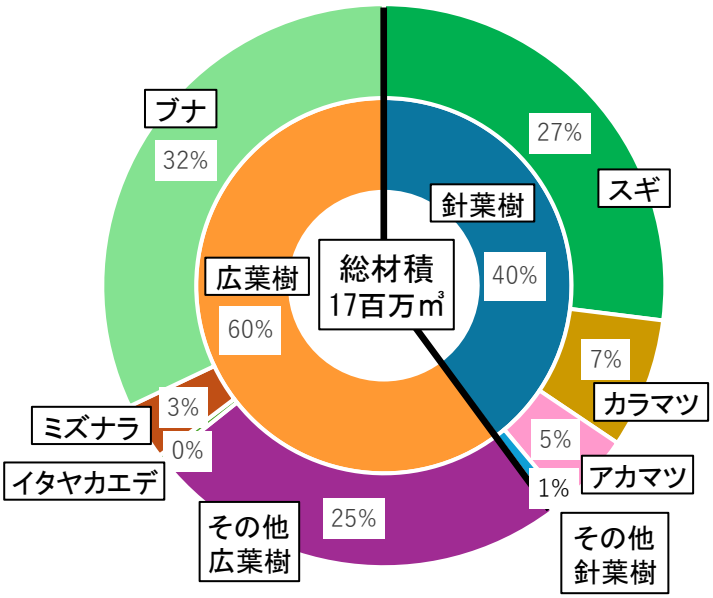
樹種構成は、ブナ、ミズナラを中心とした広葉樹が約６割、スギ、カラマツ、アカマツを中心とした針葉樹が約４割を占めており、広葉樹の殆どは21齢級（齢級：林齢を５年の幅で括った単位）以上の高齢級林、針葉樹は約６割が10齢級以上の利用期に達した林齢となっています。

また、国有林の多くは管内を貫流する北上川の支流である和賀川や胆沢川、磐井川等の源流域に位置し、大部分が水源かん養保安林に指定されています。

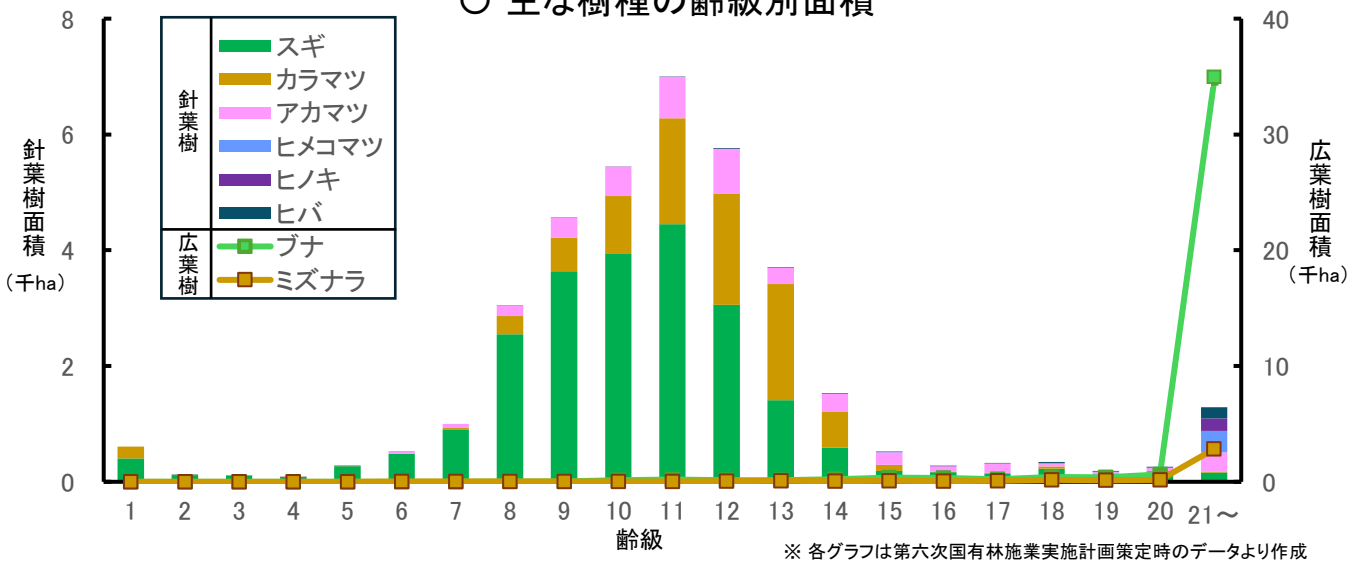
○ 林種別面積割合



○ 樹種別材積割合



○ 主な樹種の齢級別面積



※ 各グラフは第六次国有林施業実施計画策定時のデータより作成

○ 管内の保安林指定状況（令和6年度末）

単位：ha

区分	水源かん養	土砂流出防備	土砂崩壊防備	保健	風致	なだれ防止	計
面積	104,744	4,439	361	(2,909)※1	(10)※2 19	5	(2,919) 109,567

※1　水源かん養、土砂流出防備保安林と重複
※2　土砂崩壊防備保安林と重複

２．公益性を重視した国有林野の管理経営

（１）森林のタイプ別の管理経営

国有林野の管理経営に当たっては、公益重視の管理経営の一層の推進を旨とする方針の下で、個々の国有林野を重視すべき機能に応じて５タイプに区分し、公益林として適切な管理経営を行うこととされています。

当署では、以下の４タイプの機能類型区分を設定しており、「水源涵養タイプ」については全国平均より10ポイント程度多く、約60%を占めています。

○ 機能類型区分ごとの管理経営

山地災害防止タイプ

根や表土の保全、下層植生の発達した森林の維持

15,169ha

自然維持タイプ

良好な自然環境を保持する森林、希少な生物の生育・生息に適した森林の維持

27,549ha

森林空間利用タイプ

保健・文化・教育的利用の形態に応じた多様な森林の維持・造成

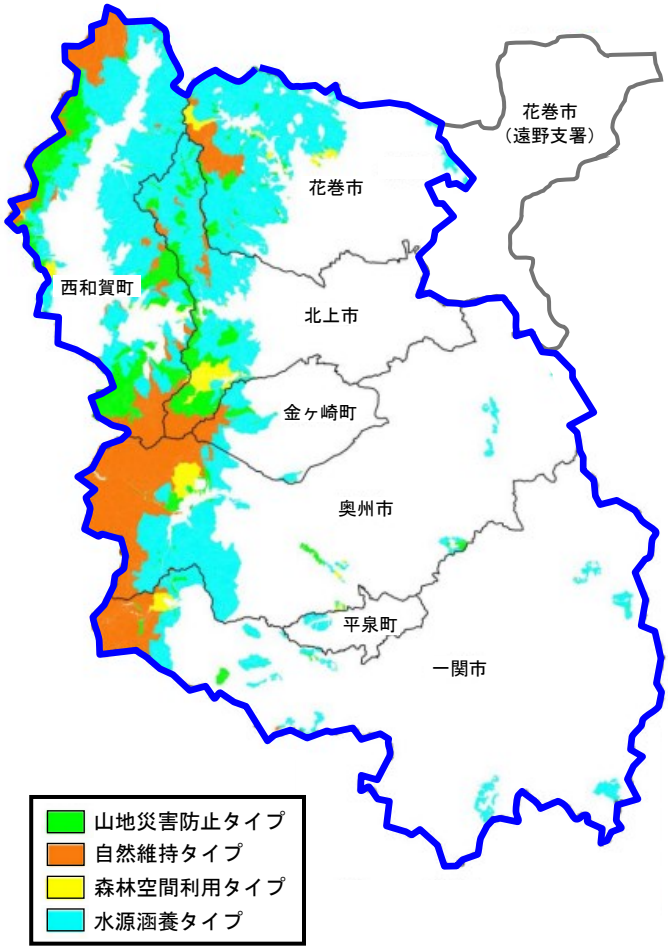
3,504ha

水源涵養タイプ

人工林の間伐や伐期の長期化、広葉樹の導入による育成複層林への誘導等を推進し、森林資源の有効活用にも配慮

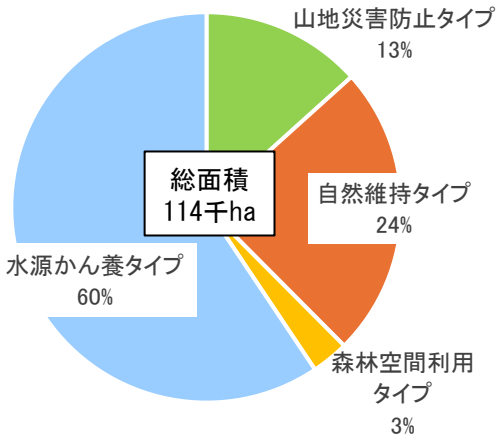
67,582ha

○ 機能類型区分の分布

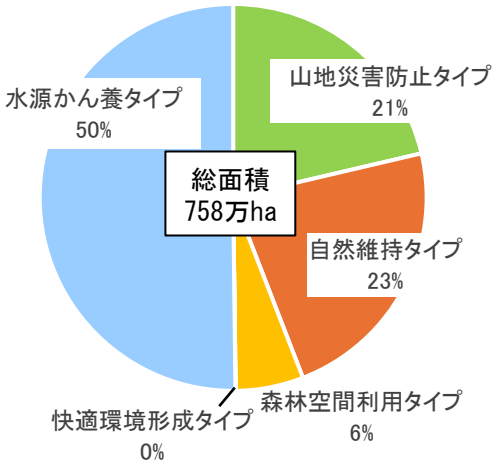


○ 機能類型別の森林面積割合

【岩手南部森林管理署】



【全国】



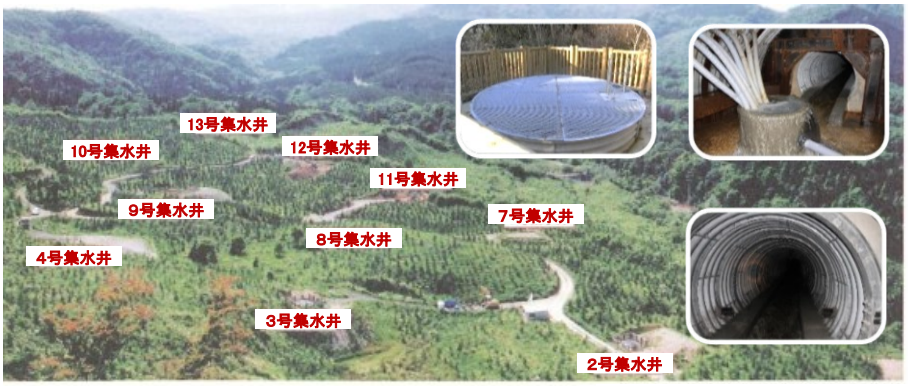
※ 第六次国有林施業実施計画策定時のデータより作成

（２）治山事業の推進

集中豪雨や地震による土砂災害など、近年、激甚化している災害に対する山地防災力を強化し、安全で安心できる暮らしを確保するため、土砂の流出・崩壊を防ぐ治山事業を行っています。

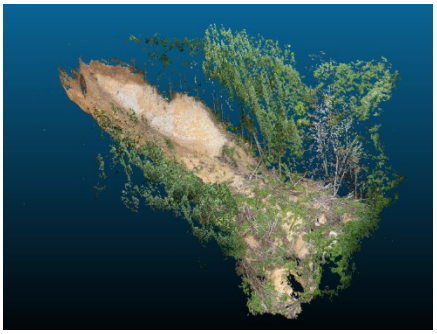
昭和20年代に相次ぐ台風で大災害を受けた一関市磐井川地区においては、地すべり防止事業を進めていましたが、平成20年の岩手・宮城内陸地震発生時に、施行箇所では地すべり被害が発生せず、事業効果が実証されました。

また、同地震で発生した大規模崩壊地では、復旧工事を継続しています。



磐井川地区における地滑り防止工事の集水井工配置及び設置状況

山腹工事による施設保全



三次元点群データによる崩壊地調査

大規模崩壊地（産女川治山工事）

（３）路網整備の推進

林道や森林作業道は、森林の整備や保全、林産物の供給等を効率的に行うために必要不可欠な基盤施設であり、近年はレーザスキャナーによる起工測量や出来形管理など、ＩＣＴを活用した効率的な施工にも取り組みながら、管内国有林の管理経営に必要な林道等の新設・改良、維持管理を計画的に行っています。

レーザスキャナー測量の実施

林道の開設

林道の維持管理（除草）

（４）生物多様性の保全

奥羽山脈の高標高域を中心に、原生的な天然林や希少な野生生物が生育・生息する森林が分布する箇所があり、このようなエリアは、森林生態系保護地域や保護林に設定し、適切な保護・管理を行っています。

また、これらの保護林を連結した「奥羽山脈緑の回廊」を設定し、連続した自然林を回復することで、野生動植物の広域的なつながりを確保し、分断された個体群の相互交流、生物多様性の保全を図っています。

（５）病害虫対策の推進

○ ナラ枯れ対策

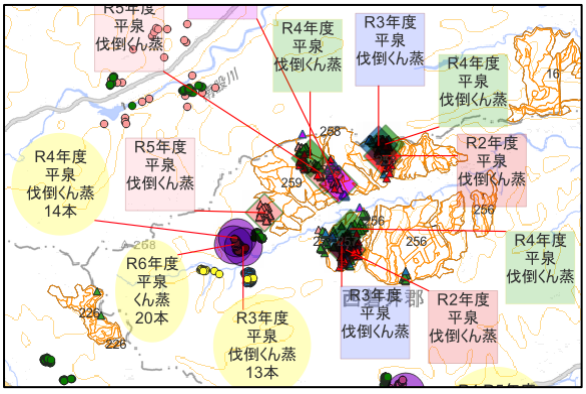
ミズナラなどのナラ類が枯死する「ナラ枯れ」の被害は、平成22年に奥州市内で初めて被害が確認されて以降急速に拡大しているため、当署では、県出先機関や地元自治体とも連携しつつ被害防止対策を推進しています。

管内には、岩手県内陸部の被害先端地域も存在しており、拡大防止に向けて、民国連携しつつドローンを活用した監視を行うとともに、被害情報等の一元化を図って、民国双方での効果的な防除に取り組んでいます。

ナラ枯れ発生状況（令和６年）

ナラ枯れ被害木の防除事業

ドローンによる民国合同調査



被害や処理状況の情報をGISで一元化

○ マツ枯れ対策

松くい虫被害は、管内の大部分で恒常的に発生している状況ですが、アカマツ資源の確保に向け、令和７年度に、東北育種場や県林業技術センターと共同で、抵抗性アカマツの試験地を設定する予定です。

「守るべき松林」における樹幹注入作業

抵抗性アカマツ試験地設定予定地

３．森林・林業施策推進への貢献

（１）「新しい林業」への取組

新しい林業への取組として、下刈の効率化や軽労化に資する「筋刈」の更なる効率化と確実な成林の両立に向けた検証や、ドローンによる造林地の成長状況等の確認、航空レーザデータを活用した立木販売、三次元点群データの活用手法についての講習会開催し普及を図るなどの取組を進めています。

筋刈の効率性向上に向けた検証

ドローンによる造林地状況の把握

立木販売における航空レーザデータの活用

三次元点群データ活用に係る講習会の開催

（２）試験研究・教育等への活用

試験研究機関等と密接な連携を図りつつ、管内国有林に次代検定林や試験地等を設定し、地域における効果的な森林施業の普及を図っているほか、森林・林業分野の学生等に実習や見学のフィールドを提供しています。

管内の施業指標林、試験地等

種類	箇所数	面積（ha）
特別母樹林	1	3.78
遺伝子保存林	3	6.27
精英樹保護林	4	1.97
施業指標林	4	147.48
森林施業モデル林	1	19.04
次代検定林	7	14.00
試験地	3	138.54
畦畔保全プロジェクト林	1	3,970m

東山マツ特別母樹林

カヌマ沢畦畔林試験地

岩手県林業アカデミーの実習

大学生のインターンシップ

（３）関係機関等との連携

○ 地方自治体との連携した取組

地域の林業関係者への技術普及に向け、県の出先機関や地元自治体、林業事業者等の民有林関係者に対して、ドローン合同研修会への講師の派遣を行い、地域林業の技術の普及・定着に向けて取り組んでいます。

また、大雨災害時には、民有林支援としてドローンを活用した被害状況の把握について情報提供を行いました。

ドローン研修会への講師派遣

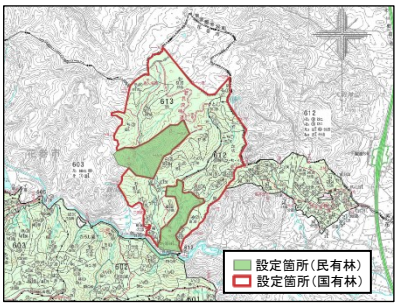
県出先機関との意見交換会

災害発生時の自治体支援

○ 共同施業団地の設定

花巻市内の２箇所において、民有林と国有林が連携して一体的に森林整備を進める「森林共同施業団地」を設定し、双方の利用を想定した林業専用道の整備、アカマツ林からの樹種転換及び森林整備により得られた木材の安定供給など、地域林業の活性化に向けた取組を進めています。

協定名	協定相手	協定面積(ha)	協定時期
葛丸地域森林整備協定	花巻市森林組合	国有林：164.66ha 民有林： 35.88ha	H23.12
花巻東部地域森林整備推進協定 （権現堂地区及び土沢・小山田地区）	花巻市 花巻市森林組合 岩手南部森林管理署遠野支署	国有林：1,817.61ha（合計） 民有林：5,167.19ha	H30.4



協定エリア（葛丸地域）

関係者間での運営会議

施業団地内で生産された木材

４．「国民の森林（もり）」としての管理経営

（１）協定締結による森林づくり

国有林を活用した各種取組を希望する団体等と、「遊々の森」や「社会貢献の森」、「多様な活動の森」などの協定を締結（当署管内では４種類６協定）し、植樹活動や自然観察会、関係者の交流の場、ＣＳＲ（企業の社会的責任）活動の場等としてのフィールドを提供しています。

管内の各種協定に基づく森林づくり活動

協定の種類	名称	市町村	面積(ha)	協定相手	協定時期
遊々の森	星めぐりの森	西和賀町	47.75	カタクリの会	H21.6.17
	和賀三山 月山きらめきの森	北上市	66.76	和賀地区自治協議会	H27.3.26
社会貢献の森	ＤＣＭの森 胆沢	奥州市	0.67	ＤＣＭ株式会社	H25.4.1
多様な活動の森	水沢鉱山（みんちゃやま）古道ふれあいの森	北上市	15.33	水沢鉱山跡地・保全協議会	H25.2.13
木の文化を支える森	歴史の森	一関市	0.57	「歴史の森林」育成協議会	H16.7.7
	平泉古事の森	奥州市	10.36	平泉古事の森育成協議会	H21.9.26

遊々の森（星めぐりの森）

協定エリアでの自然観察会

社会貢献の森（ＤＣＭの森 胆沢）

植樹会での植樹体験

木の文化を支える森（歴史の森）

森林整備活動後の記念撮影

（２）森林環境教育の推進

世界文化遺産で知られる奥州・平泉地域では、地域住民が木の文化を支える活動を行う場として「平泉古事の森」を設定（上記参照）しており、このエリアの次代を担う子どもたちに、地元自治体と連携して木工教室の開催など、当署職員が講師となって森林環境教育を実施しています。

また、毎年７月下旬に開催される「森と湖に親しむ旬間」のイベントにおいては、当署のブースで木工・クラフト教室等を開設しています。

小学校における木工教室（平泉古事の森）

【遊YOU入畑】イベント

５．林産物の供給

（１）森林資源の循環利用

人工林が本格的な利用期を迎えており、CO_2吸収や国土保全等の森林の持つ様々な機能を発揮させるためにも、「伐って、使って、植えて、育てる」というサイクルで木材循環利用できるよう、管内の国有林から木材を供給するとともに、森林整備を進めています。

高性能林業機械による間伐

コンテナ苗の植栽

（令和4年度森林・林業白書）

循環利用のイメージ

（２）林況等に応じた木材供給

主伐期に達した分収造林などの林地については、国産材の需要状況を踏まえつつ立木販売を行い、間伐等の森林整備に伴い伐採された木材については、山土場で原木規格に応じて分別した上で販売を行うことで、安定的・計画的な木材供給に取り組んでいます。また、林地から産出された有用広葉樹については、木材市場に出品することで有利販売を行っています。

立木販売予定地での説明会

山土場での椪積

木材市場での広葉樹販売

（３）地域と連携した取組

伐採木を用途や市場の動向に合わせた長さに切断することで、無駄なく有効活用するとともに、林業経営の採算性を向上させるため、地域の林業・木材産業関係者や自治体等を対象とした採材検討会を開催しています。また、労働災害防止に向け、労働基準監督署等と連携し研修会を行っています。

採材検討会の開催

林業労働安全研修会

６．国有林野の活用、地域振興

（１）レクリエーションの森

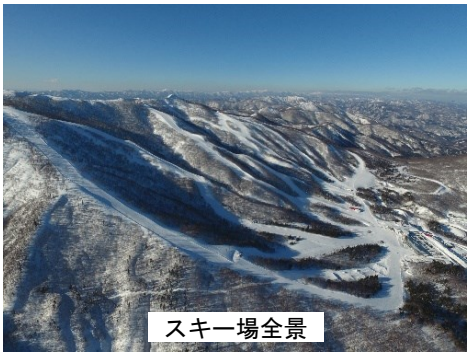
国有林野の中から美しい森林や渓谷などの景勝地及び野外スポーツに適した森林を「レクリェーションの森」として選定し、国民の保健・文化・教育的利用に広く提供しており、当署管内では以下の地域が選定されています。

管内で選定されているレクリエーションの森

種類	名称	面積（ha）	所在地	概要
野外スポーツ地域	夏油高原	513.21	北上市	国内屈指の積雪量と良質なパウダースノーで知られ、キャンプ場や宿泊施設、温泉も併設され、一年を通して楽しめます。
	鉛温泉スキー場	36.39	花巻市	鉛温泉をはじめとして、周辺には宿泊施設も多く、ウィンタースポーツを含めたレクリエーションを楽しめます。
自然観察教育林	夏油	23.98	北上市	春はブナやミズナラの新緑、秋は渓谷に映えるカエデ類の紅葉が楽しめ、夏油温泉近傍では温泉でできた石灰華を観察できます。
風景林	下前	25.92	西和賀町	大小様々な滝や渓流とブナの天然林が一体となった景観が素晴らしく、美しい自然を観察しながらの登山や散策が楽しめます。

※ 各設定箇所の位置はＰ１の管内図参照

野外スポーツ地域


スキー場全景

キャンプ場施設

「日本美しの森 お薦め国有林」

夏油高原野外スポーツ地域

鉛温泉スキー場

夏油自然観察教育林

遊歩道

夏油温泉

石灰華

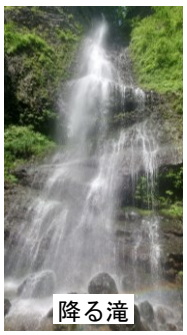
※現在通行困難

下前風景林

白糸の滝

登山道

女神霊泉


降る滝

（２）国有林野の貸付け

国有林においては、農林業を始めとする地域産業の振興、住民の福祉の向上、再生可能エネルギーの利用による発電等に寄与するため、地方公共団体、地元住民等に対して国有林野の貸付け等を行っています。

管内における貸付区分別の貸付状況

区分	契約数	面積（ha）
道路敷	140	208.02
歩道・登山道等	24	12.01
森林空間総合利用事業用地	20	159.45
農耕・採草放牧地	5	143.62
その他	260	132.48
電気・通信事業用地	77	131.30
ダム・堰堤敷	57	78.56
合計	583	865.44

採草放牧地としての活用（西和賀町）

遊歩道用途での活用（一関市）

温泉施設用途での活用（北上市）

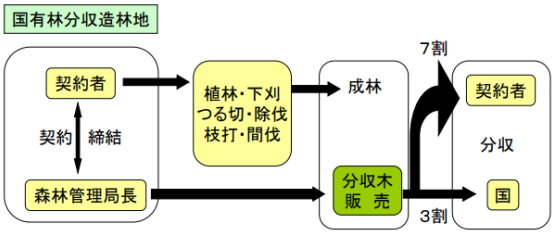
（３）分収造林制度による森林づくり

国有林においては、造林者が国有林に木を植えて一定期間育てから伐採し、その収益を国と造林者とで一定の割合で分収する「分収造林」により、民国連携した森林整備を推進しています（令和７年度も新規募集あり）。

管内における分収造林契約状況

区分	箇所数	面積（ha）
一般分収造林	431	1,769
林業構造改善分収造林	28	113
山村振興分収造林	90	831
学校分収造林	20	41
記念分収造林	10	28
ふれあいの郷分収造林	1	11
その他の分収造林	4	28
合計	584	2,820

国有林分収造林の仕組み



（林野庁資料）

活用事例

○ 婦人の森（花巻市）

昭和29年に、花巻市の婦人団体が分収造林地を設定し、団体のイベントを実施するほか、産出木材の公共施設への活用を検討中。

婦人の団体の現地視察会

○アオダモ分収林（一関市）

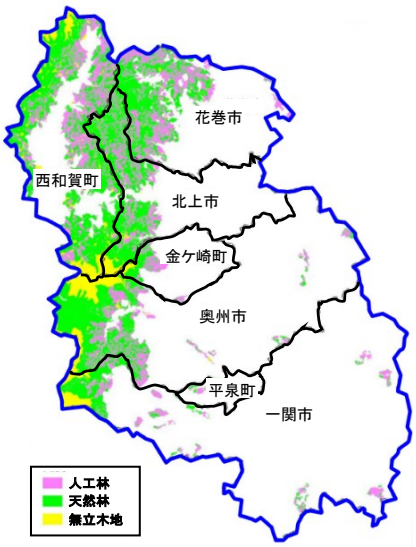
平成15年に、建設会社がアオダモの分収造林地を設定し、これまでにバットに適した材の生産を目指し、下刈等の育林活動を実施。

アオダモ造林地

7．管内国有林の市町村別データ

林種別面積　（単位：ha）

市町	人工林	天然林	その他	計	人工林率
花巻市	9,442	10,821	188	20,451	46%
北上市	5,618	11,145	1,188	17,951	31%
一関市	3,356	4,456	1,710	9,521	35%
奥州市	6,604	12,703	4,074	23,382	28%
金ケ崎町	1,203	1,319	358	2,880	42%
西和賀町	12,221	22,547	4,499	39,268	31%
平泉町	219	122	10	351	62%
計	38,662	63,114	12,028	113,804	34%



機能類型別国有林面積　（単位：ha）

市町	山地災害防止タイプ	自然維持タイプ	森林空間利用タイプ	水源涵養タイプ	計
花巻市	984	1,970	652	16,845	20,451
北上市	4,047	1,866	1,149	10,889	17,951
一関市	454	3,966	352	4,749	9,521
奥州市	1,129	10,956	972	10,326	23,382
金ケ崎町	247	840	－	1,793	2,880
西和賀町	8,308	7,951	379	22,629	39,268
平泉町	－	－	－	351	351
計	15,169	27,549	3,504	67,582	113,804

保護林別国有林面積　（単位：ha）

市町	森林生態系保護地域		生物群集保護林		希少個体群保護林	計
	保存地区	保全利用地区	保存地区	保全利用地区		
花巻市	－	－	1,639	－	－	1,639
北上市	－	－	1,101	－	－	1,101
一関市	1,123	1,891	－	－	－	3,014
奥州市	3,307	2,258	4,107	709	32	10,413
金ケ崎町	－	－	744	－	－	744
西和賀町	－	－	3,881	782	13	4,676
平泉町	－	－	－	－	－	－
計	4,430	4,149	11,473	1,491	45	21,587

国定公園　（単位：ha）

市町	栗駒国定公園
花巻市	－
北上市	2,115
一関市	4,047
奥州市	6,138
金ケ崎町	671
西和賀町	1,249
平泉町	－
総計	14,220

岩手県立自然公園　（単位：ha）

市町	花巻温泉郷県立自然公園	湯田温泉峡県立自然公園	計
花巻市	832	-	832
西和賀町	-	161	161
		合計	994

緑の回廊　（単位：ha）

市町	奥州山脈緑の回廊
西和賀町	4,400

世界遺産　（単位：ha）

市町	平泉 ―仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群―
奥州市 注）	27

注）奥州市の国有林内に指定地の一部が所在

※ 各表は第六次国有林施業実施計画策定時のデータより作成

８．令和７年度事業予定

事業名		令和６年度（実績）	令和７年度（計画）
収穫量	主伐（㎥）	70,647	188,497
	間伐（㎥）	66,930	101,577
立木・製品	立木販売量（㎥）	69,550	182,561
丸太販売量	製品販売量（㎥）	25,248	49,043
造林事業	新植（ha）	30.34	106.23
	下刈（ha）	289.92	240.99
	つる切り・除伐（ha）	35.76	53.33
	保育（切捨）間伐（ha）	13.07	13.07
森林病虫害防除事業	松くい虫被害対策（本）	－	268
	ナラ枯れ被害対策（㎥）	451	240
林道事業	新設延長	720	345
治山事業	国有林野直轄（百万円）	309	358
	民有林直轄（百万円）	0	0

間伐材の椪積み

筋刈の実施

渓間工

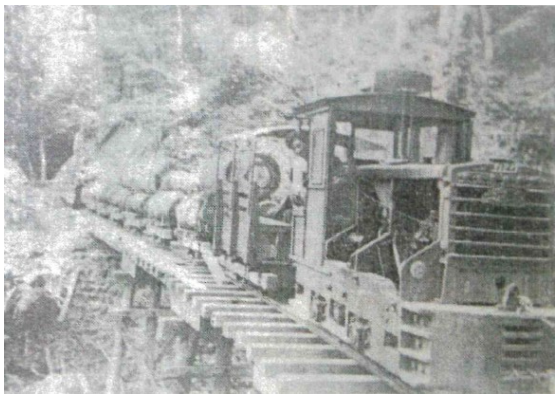
９．岩手南部森林管理署の沿革

江戸時代に藩直轄だった山林は、明治２年の藩籍奉還により国が所有する森林（官林）となり、その後、所有権が不明確な山林原野についても、数年かけて官民の所有区分をつけていきました。

官林は、明治14年に農商務省山林局の所管となり、岩手県内の官林は、明治19年７月に地方機関として設置された青森大林区署（のちの青森営林局）の管理下に入ることとなります。

その後、時代の流れに従って以下のとおり幾度もの組織改編を経て、現在の岩手南部森林管理署の体制に至っています。

1888年（明治21年）	岩手大林区署 水沢・一関派出所として設置。
1896年（明治29年）	水沢小林区署に改称。
1903年（明治36年）	岩手大林区署が、青森大林区署に再統合される。
1924年（大正13年）	官制改正により大林区署が「営林局」、小林区署が 「営林署」となり、青森営林局水沢営林署に改称。
1995年（平成７年）	一関営林署を一関森林管理センターとして統合。
1999年（平成11年）	国有林野事業の抜本的改革による組織改編により、花巻、湯田、遠野営林署を水沢営林署に統合し、東北森林管理局 青森分局 岩手南部森林管理署に改称。花巻事務所、湯田事務所、遠野支署となる。
2001年（平成13年）	花巻事務所を廃止（大迫担当区及び達曽部担当区は遠野支署に編入）。
2004年（平成16年）	青森分局が廃止され、東北森林管理局に統合。 湯田事務所及び一関森林管理センターを廃止。
2013年（平成25年）	国有林野特別会計から一般会計下での管理経営へ移行。
2018年（平成30年）	開庁130周年を迎える。
	現在に至る



水沢・若柳間森林軌道

製品・造林事業所（須川）

10. 組織概要

【令和７年４月１日】

署長

次長

総務グループ
総括事務管理官
事務管理官（管理）
事務管理官（経理）
主事（総務）

- 各種庶務、経理事務
- 国有林野等の管理・活用業務
- 広報及び渉外業務　等

業務グループ
総括森林整備官
主任森林整備官（資源活用）
主任森林整備官（土木）
森林整備官（経営・森林ふれあい）
主事（経営・資源活用）
主事（資源活用）
主事（森林育成）
主事（土木）

- 産物の収穫調査、立木評価、処分等関連業務
- 測量及び境界の保護
- 施業計画の編成
- 森林・林業知識の普及・啓発
- 森林の育成
- 土木事業の実施
- 保護林関連業務　等

治山グループ
総括治山技術官
治山技術官

- 治山事業の企画・調整
- 保安林・保安施設関連事務
- 治山事業の実施　等

森林技術指導官

- 森林・林業行政の技術的支援
- 流域管理システム関連業務　等

森林情報管理官

- 森林資源に係る情報処理　等

森林事務所
担当区域の管理、普及活動等

湯田・湯本合同森林事務所
湯田森林事務所（湯田・湯本担当区）
地域統括森林官　☎0197-82-3131
新町森林事務所（新町・川舟担当区）
首席森林官　☎0197-82-3132

土橋・愛宕合同森林事務所
土橋森林事務所（土橋・衣川担当区）
上席森林整備官　☎0197-41-8008
愛宕森林事務所（金ケ崎・愛宕担当区）
森林技術指導官事務取扱　☎0197-41-8008

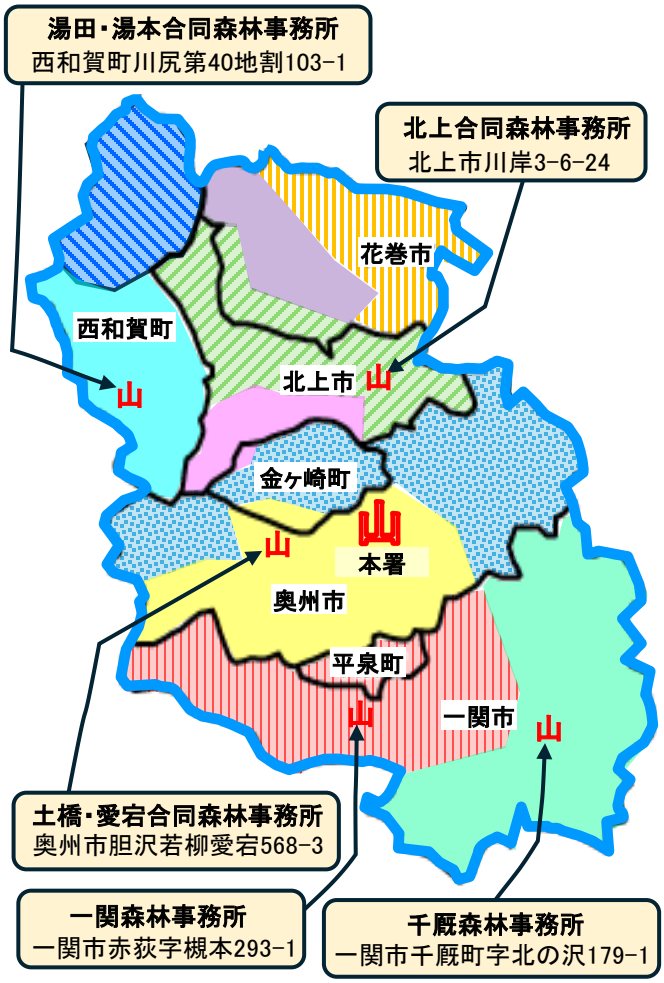
一関森林事務所（一関・須川担当区）
首席森林官　☎0191-25-2731

千厩森林事務所（千厩担当区）
森林官　☎0191-53-2127

石鳥谷森林事務所（石鳥谷担当区）
総括森林整備官（本署在勤）☎0197-24-2131

北上合同森林事務所
花巻森林事務所（花巻担当区）
首席森林官事務取扱　☎0197-65-5575
仙人森林事務所（横川目・仙人担当区）
首席森林官　☎0197-65-5575
煤孫森林事務所（煤孫担当区）
森林官　☎0197-65-5574

森林事務所の管轄区域



栗駒山と名残ヶ原湿原

林野庁東北森林管理局
岩手南部森林管理署

〒023-0853
　岩手県奥州市水沢東上野町12-17
TEL：0197-24-2131
IP：050-3160-5920
Email：t-iwatenanbu@maff.go.jp

当署HPはこちら

水沢駅より徒歩約16分　水沢ICより約15分、奥州SICより約5分